



No. 75

札幌市立手稲東中学校
進路だより
2024. 1. 25 発行

公立高校出願変更について

「出願変更」とは、「公立高校の一般入試の出願先の第一希望を一度だけ変更できる」というシステムです。

《受付期間》

令和6年1月29日(月)～令和5年2月2日(金)

時間は9:00～16:30 ただし最終日(2日)は16:00まで

《校内の申請の受付》

1月26日(金)から2月1日(木)朝まで

書類準備もありますので、できるだけ早く中学校に申し出るようにお願いします。

《留意点》

- ・保護者の方に高校に行って手続きをしていただきます。
- ・道立高校 ↔ 市立高校の場合は新たに願書、受検料納付・還付などの手続きが必要
- ・急に転勤が決まったり引っ越さなければなくなったなど、特別な事情が生じた場合は別途対応。
出願変更期間に関係なく早めにお知らせください。

出願変更、する？しない？

倍率という具体的な数字を見ると、どうしても不安になってしまう人が多いかと思います。「〇〇人も落ちる！自分は絶対この中に入っちゃう！！」なんて思う人もいれば、逆に倍率が低くて安心して「やった～。もう勉強しなくても全員受かる！」なんて思う人もいるかもしれません。（ちなみに定員を割っていても不合格になることはあります。また、合格できたとしても勉強していないと進級できなくなるかもしれません。決して油断しないように）

倍率が高くなると、確かに不合格になる人数は増えるのですが、でもちょっと考えてみてください。札幌市内の中学校では、皆さんと同じような形で進路指導が行われています。予想合格ラインに大きな違いはありません。倍率が高い高校は、いわゆるボーダー圏に出願者が固まっている状態です。倍率が高いからといって、極端に合格ラインが上がるということはありません。そのボーダー圏から抜け出すことができれば、合格の可能性が高くなることに変わりはないのです。

まだ、公立高校入試までは1ヶ月以上あります。その間にまだまだ力をつけることが可能です。皆さんにはまだまだ伸びしろがあります。

もし、より点数が低くても合格の可能性が高いと予想される高校に出願変更したとして、結局当日点が当初の出願高校にも十分合格できる点数をとれたとしたら、後悔はしませんか？

出願変更して、ちょっと安心してしまって、今後の勉強に対する意欲が下がることはありませんか？

「本当に自分が行きたい高校」から出願変更して、結果合格したとしても、高校生活の中で後悔することは本当にありませんか？

「出願変更」は、皆さんに認められている権利ですから、「してはいけない」というものではありません。けれども、自分の進路に大きく関わる内容ですから、よく考える必要があります。

出願変更期間は本当に短いので、じっくり考える余裕がないかもしれません。でも、一時の不安な気持ちから変更してしまって、後で「やっぱり変えない方が良かったかな」なんて思わないように、本当によく考えて決めてほしいと思います。

あれこれ悩んでる時間があったら、とにかく勉強して得点力を高め、その不安を打ち消しましょう。